

# 一貫教育校の広場

幼稚園

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢  
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院  
(高等部)

## 言の葉の生物多様性

志木高等学校では、現在、24の

国々や地域の言語・文化を学べます。スワヒリ語、ペルシア語、トルコ語、アラビア語、ヘブライ語、

古典ギリシャ語、古典ラテン語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、ドイツ語、ロシア語、フィンランド語、サン

スクリット語、インドネシア語、ビルマ語、ベトナム語、タイ語、モンゴル語、中国語、韓国語、ア

イヌ語、琉球語。世界中の高校を探しても、類例がありません。

こうした多言語・多文化教育は、1991年度の語学課外講座に始まり、2004年度以降は総合学習として、2年次に《ことばと文化》のテーマに沿った多彩な講座(少人数・2期制)から2つを選ぶ形になりました。例えば「くらしたびのトルコ」や「ハンムラビ法典を読む」、「ヘバヘバー韓国語」など、魅力的なものばかりです。そして週に1日、放課後に開かれる語学講座(23言語)は、本校生徒であれば誰でも参加可能で

す。そこは、学年やクラスの枠を超えて、さまざまな異世界に興味を抱いた有志が集う自由な場です。

個性溢れる講師陣に接して、生徒たちは、新しい価値観を育み、具体的な言語や文化に触れながら、それらの間に優劣はないことを自然に学び、世界に目を開いていきます。必ず複数の《ことばと文化》

に関わり、他の世界に触れた仲間と話し合い、お互いの経験を共有すること。そこにもまた、義塾の「半学半教」は息づいています。

本校では台湾やフィンランド、オーストラリアの高校と交流していますが、まずは校内で培った国際感覚が、彼らにはしっかりと根付いているようです。歓迎会での元気なパフォーマンスや、参加授業での親切なサポート。また、後に7カ国語をマスターしたOBもいますし、大学で本格的な留学を志す生徒も増えています。志木高等学校は、広大な敷地に繁茂する大自然ばかりでなく、言の葉もまた生物多様性を保っているのです。

●志木高等学校 教諭

小澤 純



上段左からアラビア語、ポルトガル語、インドネシア語。下段左から古典ラテン語、モンゴル語、フィンランド語。撮影：志木高新聞部写真班